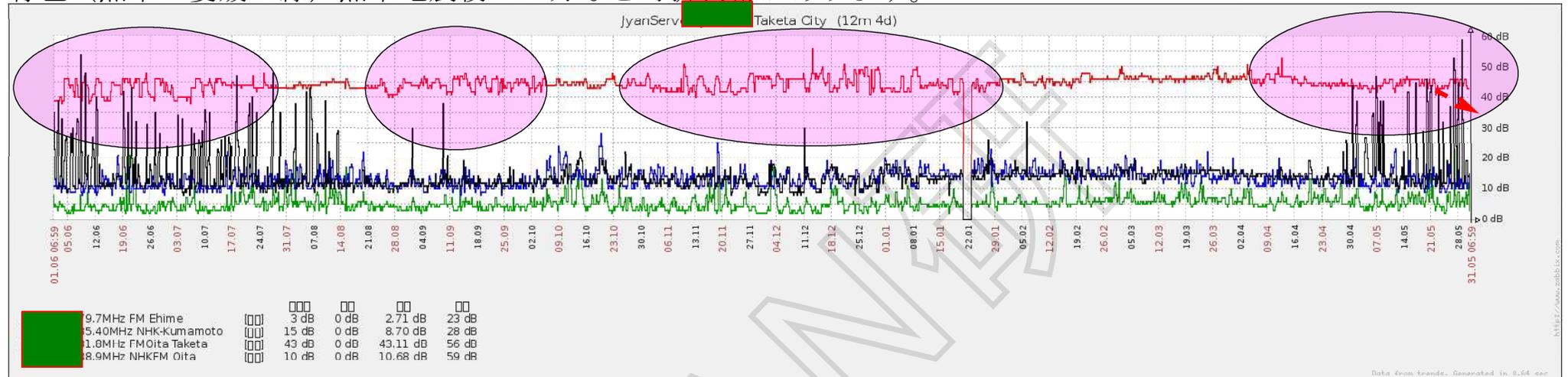
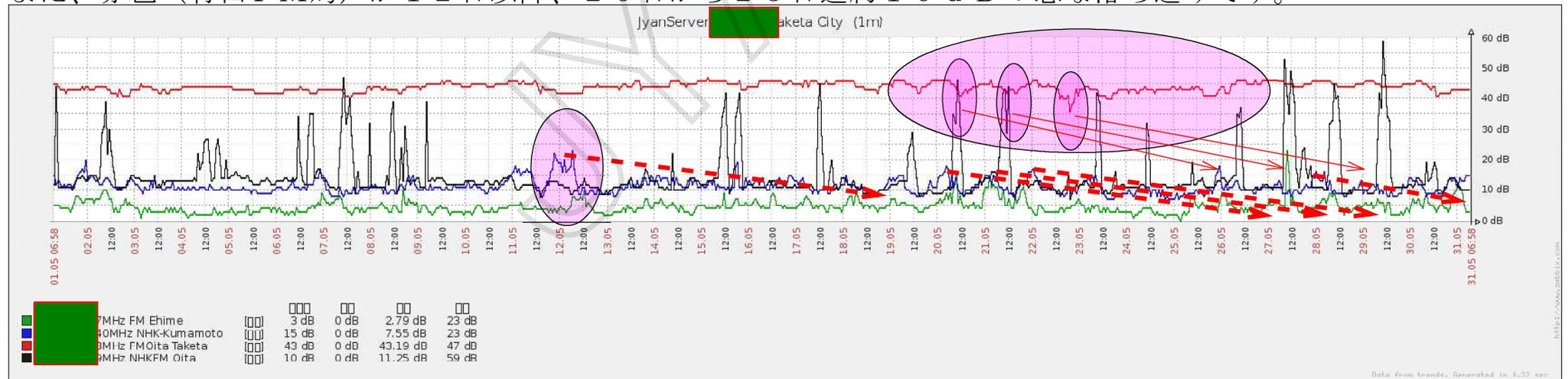


下は、竹田局の一年間グラフです。  
 赤色（竹田）は、去年の地震後から7月、9月、12月に大きな変化があります。また、5月から変化が始まりました。  
 青色（熊本&愛媛の緑）熊本地震後10月など時折異常があります。

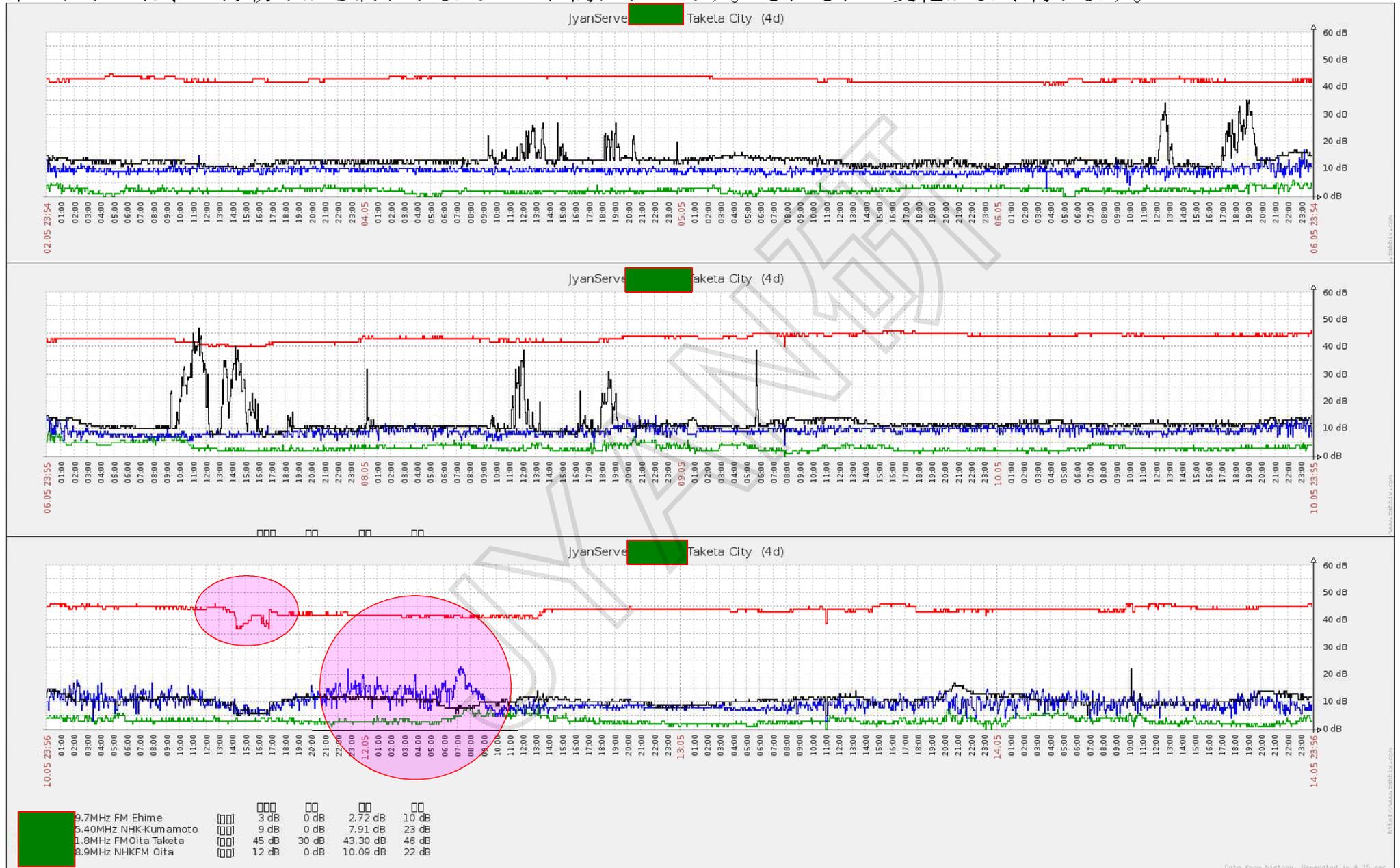


下は  
 竹田局の1ヶ月グラフです。  
 5月12日に青が23 dBまで上昇しました。また20日から23日迄18 dBクラスの上昇です。  
 また、赤色（竹田FM局）が12日以降、20日から23日迄約10 dBの急な落ち込みです。

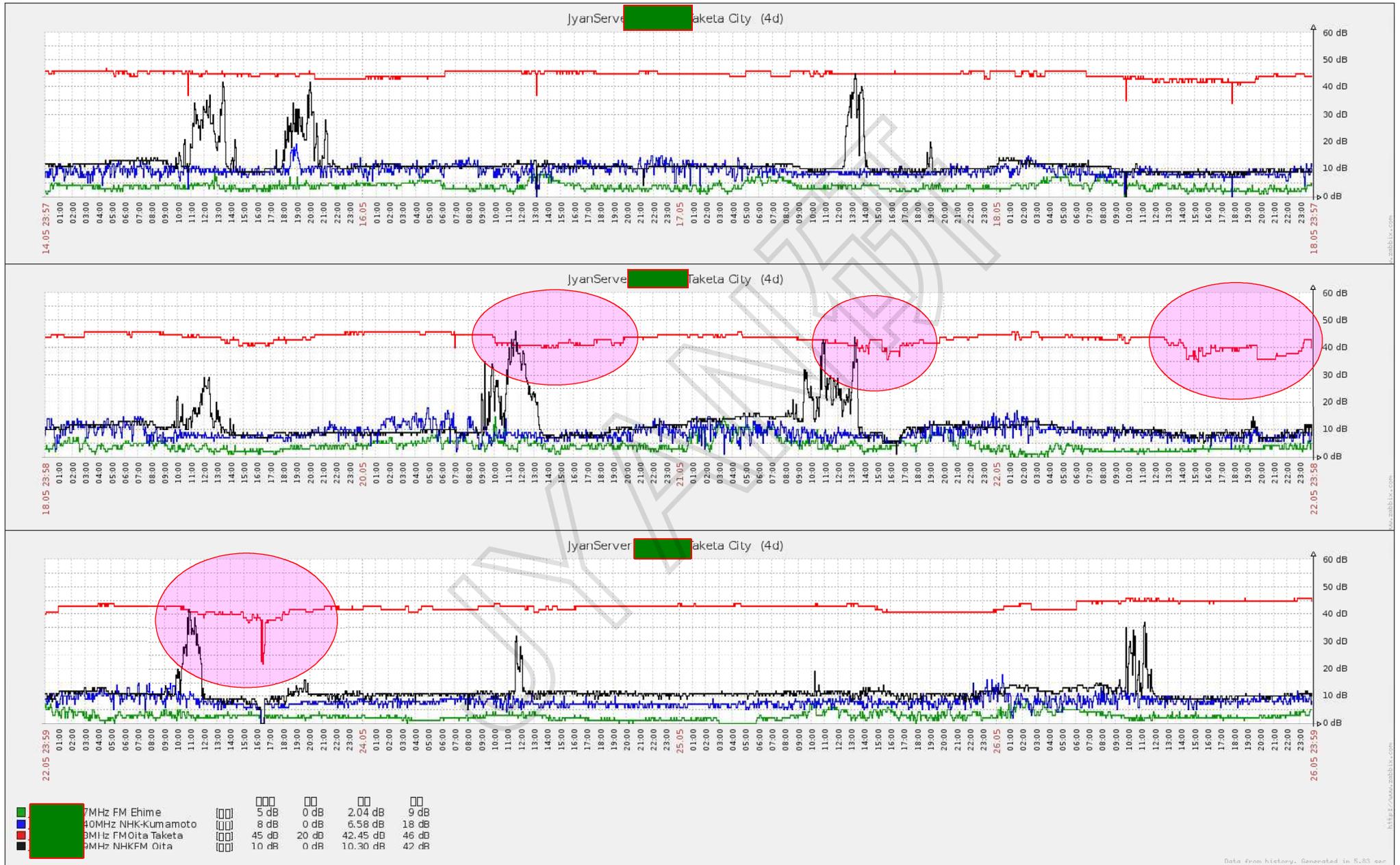


これまでの経験則からすると、それぞれ、変化があってから、ほぼ1週間で地上に変化が出ます。

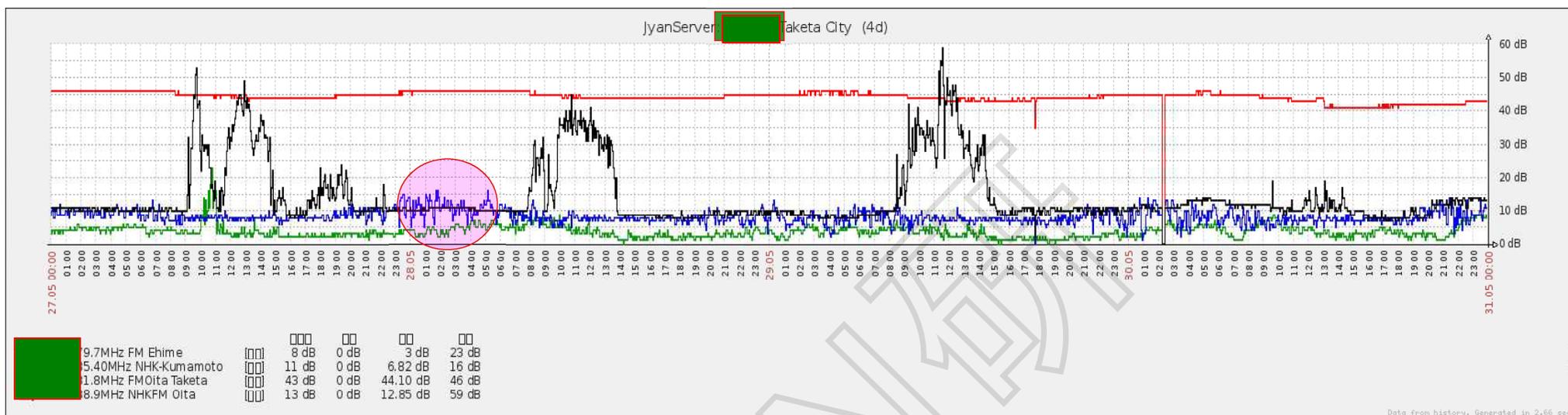
下のグラフは、5月初めから終わりまでの4日間グラフです。それぞれの変化がよく判ります。



これが、最初の観測です。23 dBほど上昇したので、経験則から、地震の発生を疑いました。



中グラフの赤丸がたけた FM の変化です、地割れの際は電磁波が落ち込みます。4回の連続です。



24日以降は落ち着いています。

私達は、地震予知のために大分ネットとして、電磁波の観測を8年間継続し、地震予知の研究を行っています。また、去年は、熊本地震の1週間前に異常を感知し、2回の地震が予測できていました。(他に実績多し)今回は、5月の12日に竹田局で地震模様の異常が出たことから、昨年同様、熊本地方の地震と考えましたが、実は16日頃から竹田観測局の直近で、地割れ現象が発生したのです。今回の地割れは、地震の時に発生する自然現象の地割れ似ていることから、同様な電磁異常現象が表れた物と考えています。

以上の観測結果と地割れの経過から

- 1 今回の地割れは、去年の熊本ー大分地震の影響で、一部地殻の上昇変化が起きたものと考えています。
- 2 理由は、5月12日に始まった電磁観測の異常変化は、5月23日をピークに、減少傾向になっています。それで、今月末までは地割れが大きくなるが、6月に入ってから次第に治まる方向になるでしょう。
- 3 5月24日以降の電磁観測では、大きい変化が出ていませんから、地割れは落ち着くでしょう。
- 4 また、大分県内には去年の地震以降、微動が発生しているところが有り、警戒が必要と思われます。
- 5 今後も、特別な変化が出れば、お知らせすることが可能です。(JYAN 研)